事例No.	1708
公表年度	R4
団体の属性	一般市
団体名	高知県須崎市

事例区分	公営企業

タグ	・（公営企業）水道事業 ・クラウド ・（行政改革）業務の効率化

事例種類	DX

事例内容・タイトル

クラウドサービスを利用した水道施設広域監視装置の導入

出典

公営企業の持続可能な経営の確保に向けた先進・優良事例集

【高知県須崎市】
クラウドサービスを利用した水道施設広域監視装置の導入

DX　水道事業

高知県須崎市水道課

● 取組の概要

水道施設監視設備の更新費用を抑制するため、水道施設広域監視装置（WATER BUSINESS　CLOUD）の導入を行った。

◆総事業費　合計　85,377千円　（令和4年度）

水道施設広域監視装置設置委託料	65,880千円
中央監視・テレメータ装置撤去及び改修工事	5,184千円
WBC水道施設台帳整備委託料	8,596千円
水道課庁舎低圧受電切替工事等	5,717千円
WBCサービス利用料（年間使用料）	5,254千円

◆背景

- 平成4年から稼働していた中央監視システムの更新の検討を平成23年に始めたところ、機器費だけで3億円以上の多額の経費が必要であることが判明し、より安価にシステムを更新できないか検討した結果、クラウドサービスを利用した広域監視装置を導入することとなった。

◆具体的内容

- 老朽化していた水道施設のテレメータ監視装置を広域監視装置（WBC）へ更新した。

◆効果

- 広域監視装置の導入により、水道施設監視設備の更新工事費用が削減された（420,000千円→85,377千円、▲約334,600千円）。
- 水道課庁舎と施設を結ぶテレメータ（遠隔自動データ収集装置）が不要となり、回線使用料が削減された（4,000千円→600千円、▲約3,400千円/年）。
- 水道課庁舎のサーバ等設備の撤去により電気代が削減された（1,500千円→800千円、▲約700千円/年）。

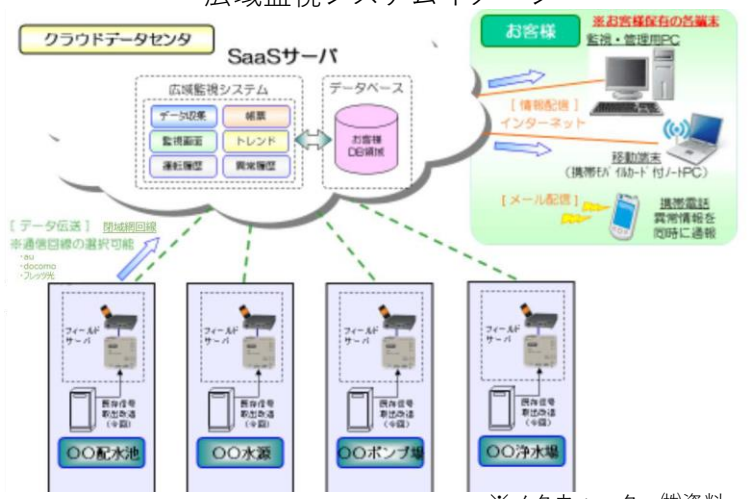
● 取組のポイント

- 従来型の機器設置費用に比べ、広域監視装置の機器設置工事費用が安価であった。
- クラウドサービスを利用することにより、大規模な設備を持たないため、維持管理費、電気料金、減価償却費が不要でありトータルコストの削減が期待できる。

● 公営企業情報

- 行政区域内人口　20,285人（令和4年4月1日時点）
- 行政区域内面積　135.20km²（令和4年4月1日時点）
- 給水人口　18,213人（令和3年度決算）

広域監視システムイメージ



※メタウォーター㈱資料

● 取組のスケジュール

- 平成23年度検討を開始。
- 平成26年度より導入

● 今後の展望

- 広域監視装置の水道施設台帳（各水道施設にある機器の明細・状態等を示すデータ）を更新し、最適な水道施設の維持管理を目指す。